

2022年5月に開院した兵庫県立はりま姫路総合医療センターは、兵庫県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畠病院を統合再編した県内公立病院で最大規模の総合病院であり、播磨姫路圏域において、安定的・継続的に高度で良質な医療を提供している。

経済効果は病院及び関連施設建設や診療報酬の増加を基礎とし、はりま姫路総合医療センター等より提供された関連資料により産業連関分析（平成27年兵庫県産業連関表、姫路市産業連関表による推計）により推計した。推計対象期間は、医療施設の建設の経済効果は2017年度～2022年度、運営の経済効果は、2022年5月～2023年3月（実績及び見込み）及びフルオープン予定の2023年度を試算した。

はりま姫路総合医療センターの概要

- ・所在地：兵庫県姫路市神屋町3丁目264番地
- ・開設日：令和4年5月1日
- ・病院の基本理念：わたしたちは「和」と「愛」をもって、人を「幸せ」にするために、安心で信頼される最良の医療を提供します。
- ・診療科：35科（内科系11科、外科系10科、その他の診療科目14科）
- ・病床数：736床（一般病棟720床、精神科病棟16床）
※640床で開院し、令和5年4月からフルオープン
- ・構造規模：延床面積70.0千m² 敷地面積 30.0千m²
- ・病院従業者（令和4年5月）：1,389名

図表1 医療センター事業最終需要額

(単位：百万円)

区分		平成29年度 2017	平成30年度 2018	令和元年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	22.5.1オープン 令和4年度 2022	23.4.1フルオープン 令和5年度 2023	合計
1 建設	建設	0	0	4,612	7,526	21,475	0	0	33,613
2 設計監理費	設備管理	32	560	101	161	91	10	0	955
3 機器整備費	内部機器等	0	0	0	0	6,576	2,168	0	8,744
4 その他	移転等	0	0	0	0	106	75	0	181
5 センター運営	医業費用	0	0	0	0	0	28,758	34,879	63,637
	医業外費用	0	0	0	0	0	322	342	664
	委託業者	0	0	0	0	0	941	706	1,647
	その他	0	0	0	0	0	66	72	138
	小計	0	0	0	0	0	30,087	35,999	66,086
6 患者交通費等		0	0	0	0	0	587	641	1,228
7 関連業者	医療センター内店舗	0	0	0	0	0	119	129	248
	薬局	0	0	0	0	0	643	876	1,519
	その他	0	0	0	0	0	50	50	100
	小計	0	0	0	0	0	812	1,055	1,867
合計		32	560	4,713	7,687	28,248	33,739	37,695	112,674
うち建設	1+2+3+4	32	560	4,713	7,687	28,248	2,253	0	43,493
うち運営	5+6+7	0	0	0	0	0	31,486	37,695	69,181

(注)統計表の数値は、表章単位(百万円)未満を四捨五入しているため、合計欄数値と内訳の和と一致しない場合がある

図表2 姫路循環器センター・広畠病院医業費用等

区分		平成29年度 2017	平成30年度 2018	令和元年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	合計
循環器+広畠	医業費用				23,498	24,014			47,512
	医業外費用				165	581			746
	その他				1,560	1,784			3,344
	計	0	0	0	25,223	26,379	0	0	51,602

1 医療施設及び関連施設の建設最終需要額

建設及び関連需要(医療機器等)について推計(2017年度～2022年度見込み)した。

医療センターの決算書、予算書等から建設、設計監理費、機器整備費、その他を推計した。

図表3 はりま姫路総合医療センター事業最終需要額(建設等)

(単位:百万円)

部門	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 見込み	合計
鉄骨	0	0	2,126	5,166	8,197	0	15,489
RC造	0	0	516	1,253	1,988	0	3,757
その他	0	0	1,970	1,107	11,290	0	14,367
計	0	0	4,612	7,526	21,475	0	33,613
設計監理費	32	560	101	161	91	10	955
機器整備費	0	0	0	0	6,576	2,168	8,744
移転費用	0	0	0	0	106	75	181
建設部門 合計	32	560	4,713	7,687	28,248	2,253	43,493

部門別医療センター建設事業最終需要額

図表4 はりま姫路総合医療センター事業最終需要額(建設等)

(単位:百万円)

部門	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 見込み	合計
1 農業							0
2 林業							0
3 漁業							0
4 鉱業							0
5 飲食料品							0
6 繊維製品							0
7 パルプ・紙・木製品							0
8 化学製品							0
9 石油・石炭製品							0
10 プラスチック・ゴム製品							0
11 烹業・土石製品							0
12 鉄鋼							0
13 非鉄金属							0
14 金属製品							0
15 はん用機械							0
16 生産用機械							0
17 業務用機械	0	0	634	0	10,278	0	10,912
18 電子部品							0
19 電気機械	0	0	1,272	1,107	7,218	0	9,597
20 情報通信機器	0	0	0	0	0	2,168	2,168
21 輸送機械	0	0	64	0	371	0	435
22 その他の製造工業製品	5	5	5	5	4	0	24
23 建設	0	0	2,642	6,419	10,185	0	19,246
24 電力・ガス・熱供給							0
25 水道	0	0	0	20	0	0	20
26 廃棄物処理							0
27 商業							0
28 金融・保険							0
29 不動産							0
30 運輸・郵便							0
31 情報通信							0
32 公務							0
33 教育・研究							0
34 医療・福祉							0
35 他に分類されない会員制団体							0
36 対事業所サービス	22	550	91	131	81	10	885
37 宿泊、飲食サービス							0
38 その他対個人サービス							0
39 事務用品							0
40 分類不明							0
合計	32	560	4,713	7,687	28,248	2,253	43,493

2 医療センター運営最終需要額（2022年度実績見込、2023年度見込）

2.1 医療センター運営費

予算書等から病院従事者、医薬品、医用材料・医用器具産業従事者、関連事業者従業員の雇用者所得を推計した。2022年度は実績見込み、2023年度は、予算書等から見込みである。

図表5 はりま姫路総合医療センター事業最終需要額(運営) (単位:百万円)

区分		2022年度	2023年度	合計
センター運営	医業費用 医業外費用 委託業者 その他	28,758 322 941 66	34,879 342 706 72	63,637 664 1,647 138
患者交通費等		587	641	1,228
関連業者	病院内店舗 薬局 駐車場管理	119 643 50	129 876 50	248 1,519 100
計		31,486	37,695	69,181

図表6 はりま姫路総合医療センター事業最終需要額(運営)

区分	部門	2022年度							
		医業費用	医業外費用	委託業者	その他	患者交通費等	病院内店舗	薬局	駐車場管理
1 農業									
2 林業									
3 漁業									
4 鉱業									
5 飲食料品						60			
6 繊維製品									
7 パルプ・紙・木製品									
8 化学製品									
9 石油・石炭製品									
10 プラスチック・ゴム製品									
11 窯業・土石製品									
12 鉄鋼									
13 非鉄金属									
14 金属製品									
15 はん用機械									
16 生産用機械									
17 業務用機械									
18 電子部品									
19 電気機械									
20 情報通信機器									
21 輸送機械									
22 その他の製造工業製品									
23 建設									
24 電力・ガス・熱供給									
25 水道									
26 廃棄物処理									
27 商業									
28 金融・保険									
29 不動産									
30 運輸・郵便									
31 情報通信									
32 公務									
33 教育・研究									
34 医療・福祉									
35 他に分類されない会員制団体									
36 対事業所サービス		28,758	322	941	66	527	119	643	50
37 宿泊、飲食サービス									
38 その他対個人サービス									
39 事務用品									
40 分類不明									
41 合計		28,758	322	941	66	587	119	643	50

図表6-2 はりま姫路総合医療センター事業最終需要額(運営)

区分	部門	2023年度見込み							
		医業費用	医業外費用	委託業者	その他	患者交通費等	病院内店舗	薬局	駐車場管理 薬局
1 農業									
2 林業									
3 漁業									
4 鉱業									
5 飲食料品							66		
6 繊維製品									
7 パルプ・紙・木製品									
8 化学製品									
9 石油・石炭製品									
10 プラスチック・ゴム製品									
11 窯業・土石製品									
12 鉄鋼									
13 非鉄金属									
14 金属製品									
15 はん用機械									
16 生産用機械									
17 業務用機械									
18 電子部品									
19 電気機械									
20 情報通信機器									
21 輸送機械									
22 その他の製造工業製品									
23 建設									
24 電力・ガス・熱供給									
25 水道									
26 廃棄物処理									
27 商業									
28 金融・保険									
29 不動産									
30 運輸・郵便									
31 情報通信									
32 公務									
33 教育・研究									
34 医療・福祉		34,879		342	169	72	575	55	876
35 他に分類されない会員制団体									
36 対事業所サービス									
37 宿泊、飲食サービス									
38 その他対個人サービス									
39 事務用品									
40 分類不明									
41 合計		34,879	342	706	72	641	129	876	50

医療及び不随業務に関わる費用は、医療センター運営に際し、医薬品や医療消耗器具等の材料費、交通通信費、清掃等の委託費等の経費など医療自体に関わる需要のみならず、施設の保守や事務部門などの需要も含まれる。

図表7 医療及び付随業務に関する費用内訳 (単位:百万円)

区分	令和4年度 4/5～5/3	令和5年度 5/4～6/3	合計
医業費用	28,758	34,879	63,637
給与費	15,627	15,811	31,438
材料費	6,948	10,926	17,874
経費	4,759	5,157	9,916
研究研修費	71	98	169
その他	1,353	2,887	4,240
医業外費用	322	342	664
委託業者	941	706	1,647
その他	1,465	1,768	3,233
合計	31,486	37,695	69,181

図表8 病院従事者等 (単位:人)

項目	はりま姫路総合医療センター(2022.5)	はりま姫路総合医療センター(2023.4)
1 医師(専攻医等除く)	163	177
2 医療技術職	277	313
3 看護師	928	999
4 事務職	21	21
計	1,389	1,510
病床数	640	736

2.2 患者交通費等

患者が支払う交通費、飲食費や関連消費等の最終需要額を推計した。

入院患者数及び外来通院患者数は、医療センター調査資料（2022年5月～12月）等を使用した。

図表9 医療センター入院患者数 (単位:人)

区分	月平均 (2022年5-12月)	構成比 %
姫路市	822	69.5
県内その他地域	341	28.8
県外	19	1.6
合計	1,182	100.0

図表10 医療センター外来通院患者数 (単位:人)

区分	月平均 (2022年5-12月)	構成比 %
姫路市	13,298	73.5
県内その他地域	4,623	25.6
県外	157	0.9
合計	18,078	100.0

2.3 関連業者需要

センター内及び周辺地域の関連業者の需要增加分を推計した。概要は次のとおり。

- 院内店舗（コンビニ、食堂、カフェ）について関連業者需要を推計した。

従業員1人当たり売上額（総務省「経済センサス」）×従業者数

- 薬局（医療センター周辺店舗）医療センターから500メートル以内

売上額 薬局（想定1人当たり売上額）×従業員数（8時間換算）

・有料駐車場 駐車料金（年間想定料金収入）

図表11 医療センター内施設の状況 (単位:人)

区分	人数等	8時間換算
院内店舗	コンビニエンスストア 263席	89.21m ² —
	食堂	—
	カフェ 37席	—
薬局	常勤 25	12 13
	非常勤	
計	従業員数 37	25

3 経済効果試算結果

経済波及効果は、はりま姫路総合医療センターから提供のあった関連資料や各種経済統計データにより、兵庫県内及び姫路市内を対象に、「平成27年兵庫県産業連関表」、「平成27年姫路市産業連表」（地域経済指標研究会）から産業連関分析により推計した。

経済波及効果概要

(1) 建設効果

兵庫県内

経済波及効果

(生産誘発額) 626 億円
付加価値誘発額 278 億円
就業者誘発数 3,900 人

姫路市内

経済波及効果

(生産誘発額) 423 億円
付加価値誘発額 190 億円
就業者誘発数^{注2} 3,479 人

(2) 2022年度運営効果（2023年度）

兵庫県内

経済波及効果

(生産誘発額) 473 億円 (R5:567 億円)
付加価値誘発額 286 億円 (R5:342 億円)
就業者誘発数^{注2} 4,433 人 (R5:5,310 人)

姫路市内

経済波及効果

(生産誘発額) 442 億円 (同 531 億円)
付加価値誘発額 265 億円 (同 319 億円)
就業者誘発数 4,109 人 (同 4,939 人)

注1) 第1次間接効果：原材料消費による誘発効果、第2次間接効果：民間消費支出による誘発効果

注2) 生産誘発額を就業者数に換算

図表12 県立はりま姫路医療センター経済波及効果概要

2023/2/15

(単位:億円、人)

項目	建設(2017年度～22年度)		運営(2022年度)		運営(2023年度)見込		備考
	兵庫県内	姫路市内	兵庫県内	姫路市内	兵庫県内	姫路市内	
生産誘発額	626	423	473	442	567	531	経済効果(売上額の合計)
直接効果	435	308	321	309	383	370	最終需要額
間接効果	191	115	158	136	190	164	
第一次間接効果	118	67	71	62	85	74	原材料消費から誘発効果
第二次間接効果	73	48	87	74	105	90	民間消費支出による誘発効果
付加価値誘発額	278	190	286	265	342	319	(売上額－経費等)の合計
名目GDP	219,783	22,576	219,783	22,576	219,783	22,576	
名目GDP比(%)	0.1	0.8	0.1	1.2	0.2	1.4	
就業者誘発数	3,900	3,479	4,433	4,109	5,310	4,939	個人業主、雇用者等
就業者数	2,453,151	287,283	2,453,151	287,283	2,453,151	287,283	従業地ベース(2020年)
市内就業者比(%)	0.2	1.2	0.2	1.4	0.2	1.7	市民経済計算
税収効果	53	—	41	—	49	—	直接税・間接税(国県市町税計)

(資料)兵庫県「平成27年兵庫県産業連関表」、兵庫県立大学浦山准教授「平成27年姫路市産業連関表」

(注)統計表の数値は、表章単位(円)未満を四捨五入しているため、合計欄数値と内訳の和と一致しない場合がある

(参考1)医療センター経済波及効果の特徴

はりま姫路総合医療センターは、尼崎総合医療センターとは、医療サービスの投入構造の違いにより生産波及部門が異なるが、きめ細かい医療サービスの提供や病床数等同等の規模があり、尼崎総合医療センター並みの経済波及効果(生産誘発額)である。

図表13 尼崎総合医療センター等経済波及効果の事例比較

項目			尼崎総合医療センター	はりま姫路総合医療センター
開設年月			平成27年7月1日	令和4年5月1日
診療科		科	51	35
病床数		床	730	640(736)
面積	延床面積 敷地面積	千m ² 千m ²	77.4 36.6	70.0 30.0
スタッフ数		人	2,159	1,454
経済波及効果			H23～H28年度計	H29～R4年度計
病院建設	最終需要額	億円	317.3	434.9
	生産誘発額	億円	502.2	626.1
	雇用誘発数	千人	3.15	3.90
			平成28年度推計	令和5年度推計
病院運営	最終需要額(A)	億円	358.1	383.4
	生産誘発額(B)	億円	558.2	566.5
	波及倍率(B/A)	倍	1.56	1.48
	雇用誘発数	千人	6.4	5.3
使用産業連関表			平成22年兵庫県表	平成27年兵庫県表

(参考2)広畠病院・循環器病センター（医療部門）経済波及効果（2021年度）試算

移転前の広畠病院・循環器病センター（医療部門）の経済波及効果（2021年度 396 億円）は、医療サービスの内容が異なることから単純な比較はできないが、移転前と比べて2023年度（フルオープン時見込み 567 億円）の経済波及効果が 171 億円上回る。

経済波及効果（生産誘発額）

- ・広畠病院・循環器病センター（医療部門） 396 億円（2021 年度）
- ・兵庫県立はりま姫路総合医療センター（運営） 567 億円（2023 年度）

図表14広畠病院+循環器センターと比較（単位:億円、人）

項目	広畠+姫循運営(2021年度)	はりま姫路(2023年度)	はりま姫路2023年度比
	兵庫県内	兵庫県内	兵庫県内
生産誘発額	396	567	171
直接効果	264	383	120
間接効果	132	190	58
第一次間接効果	59	85	26
第二次間接効果	73	105	32
付加価値誘発額	239	342	103

参考表1 建設需要経済波及効果概要(兵庫県39部門)

(単位:百万円、人)

部門	最終需要額	生産誘発額	付加価値誘発額	就業者誘発数	雇用者誘発数
1 農業	0.0	32.9	14.9	8	1
2 林業	0.0	3.7	2.8	0	0
3 漁業	0.0	14.2	7.3	1	0
4 鉱業	0.0	9.6	3.7	0	0
5 飲食料品	0.0	268.2	89.8	10	9
6 繊維製品	0.0	17.4	6.4	3	1
7 パルプ・紙・木製品	0.0	103.1	33.7	4	4
8 化学製品	0.0	134.5	44.4	3	3
9 石油・石炭製品	0.0	77.4	13.2	1	1
10 プラスチック・ゴム製品	0.0	267.3	98.9	12	11
11 窯業・土石製品	0.0	373.4	173.1	16	14
12 鉄鋼	0.0	671.1	118.4	6	5
13 非鉄金属	0.0	186.0	46.0	5	5
14 金属製品	0.0	860.7	365.9	52	47
15 はん用機械	0.0	133.7	56.0	4	4
16 生産用機械	0.0	26.9	11.4	0	0
17 業務用機械	10,911.6	11,697.6	4,251.1	535	525
18 電子部品	0.0	411.8	143.7	14	14
19 電気機械	9,597.1	10,242.9	3,500.6	257	252
20 情報通信機器	2,168.4	2,205.8	739.9	49	49
21 輸送機械	434.5	513.7	157.9	15	14
22 その他の製造工業製品	23.9	117.2	47.3	9	6
23 建設	19,245.9	19,386.9	8,595.4	1,684	1,277
24 電力・ガス・熱供給	0.0	816.1	251.7	5	5
25 水道	19.6	149.6	70.3	1	1
26 廃棄物処理	0.0	75.7	46.5	5	5
27 商業	0.0	1,930.6	1,279.8	310	283
28 金融・保険	0.0	1,081.3	697.6	47	46
29 不動産	0.0	2,474.0	2,080.1	39	35
30 運輸・郵便	206.4	1,274.8	821.3	92	89
31 情報通信	0.0	484.6	254.1	17	17
32 公務	0.0	190.1	133.3	10	10
33 教育・研究	0.0	305.9	222.8	24	21
34 医療・福祉	0.0	436.0	264.5	45	41
35 他に分類されない会員制団体	0.0	172.5	98.9	24	23
36 対事業所サービス	884.6	3,705.3	2,212.5	444	374
37 対個人サービス	0.0	1,030.6	524.2	148	123
38 事務用品	0.0	57.8	0.0	0	0
39 分類不明	0.0	672.9	287.9	1	1
合計	43,492.0	62,613.6	27,767.4	3,900	3,316

(資料)兵庫県「平成27年兵庫県産業連関表」

参考表1-2 2022年度運営需要経済波及効果概要(兵庫県39部門)

(単位:百万円、人)

部門	最終需要額	生産誘発額	付加価値誘発額	就業者誘発数	雇用者誘発数
1 農業	0.0	51.5	23.3	14	2
2 林業	0.0	4.9	3.6	1	1
3 漁業	0.0	29.6	15.3	3	1
4 鉱業	0.0	7.4	2.9	0	0
5 飲食料品	60.3	468.2	156.8	16	16
6 繊維製品	0.0	21.0	7.7	3	2
7 パルプ・紙・木製品	0.0	72.7	23.8	3	3
8 化学製品	0.0	798.8	263.7	15	15
9 石油・石炭製品	0.0	64.1	11.0	1	1
10 プラスチック・ゴム製品	0.0	44.4	16.4	2	2
11 窯業・土石製品	0.0	17.8	8.2	1	1
12 鉄鋼	0.0	10.3	1.8	0	0
13 非鉄金属	0.0	8.8	2.2	0	0
14 金属製品	0.0	22.5	9.6	1	1
15 はん用機械	0.0	13.0	5.4	0	0
16 生産用機械	0.0	13.9	5.9	0	0
17 業務用機械	0.0	179.2	65.1	8	8
18 電子部品	0.0	14.9	5.2	0	0
19 電気機械	0.0	50.3	17.2	1	1
20 情報通信機器	0.0	26.6	8.9	1	1
21 輸送機械	0.0	42.0	12.9	1	1
22 その他の製造工業製品	0.0	77.3	31.2	5	4
23 建設	0.0	155.5	68.9	12	9
24 電力・ガス・熱供給	0.0	882.3	272.1	5	5
25 水道	0.0	273.9	128.7	5	5
26 廃棄物処理	0.0	168.1	103.2	10	10
27 商業	694.0	2,374.8	1,574.4	382	348
28 金融・保険	0.0	1,069.0	689.6	47	46
29 不動産	66.0	3,266.9	2,746.7	52	46
30 運輸・郵便	576.9	1,298.4	836.6	93	89
31 情報通信	45.4	548.6	287.7	21	19
32 公務	0.0	74.0	51.9	4	4
33 教育・研究	0.0	311.3	226.8	24	22
34 医療・福祉	28,982.6	29,966.9	18,177.3	3,108	2,958
35 他に分類されない会員制団体	0.0	174.5	100.1	23	22
36 対事業所サービス	969.7	2,885.1	1,722.7	346	290
37 対個人サービス	90.7	1,561.5	794.2	225	186
38 事務用品	0.0	94.6	0.0	0	0
39 分類不明	0.0	183.7	78.6	0	0
合計	31,485.6	47,328.4	28,557.6	4,433	4,119

(資料)兵庫県「平成27年兵庫県産業連関表」

参考表1-3 2023年度運営需要経済波及効果概要(兵庫県39部門)

(単位:百万円、人)

部門	最終需要額	生産誘発額	付加価値誘発額	就業者誘発数	雇用者誘発数
1 農業	0.0	61.6	27.9	17	3
2 林業	0.0	5.8	4.3	1	1
3 漁業	0.0	35.4	18.3	3	1
4 鉱業	0.0	8.9	3.5	0	0
5 飲食料品	65.7	554.3	185.6	20	18
6 繊維製品	0.0	25.2	9.3	4	3
7 パルプ・紙・木製品	0.0	88.9	29.1	4	3
8 化学製品	0.0	965.3	318.6	18	18
9 石油・石炭製品	0.0	76.5	13.1	1	1
10 プラスチック・ゴム製品	0.0	53.0	19.6	2	2
11 烟業・土石製品	0.0	21.4	9.9	1	1
12 鉄鋼	0.0	12.0	2.1	0	0
13 非鉄金属	0.0	10.5	2.6	0	0
14 金属製品	0.0	26.8	11.4	1	1
15 はん用機械	0.0	14.2	5.9	0	0
16 生産用機械	0.0	14.9	6.3	0	0
17 業務用機械	0.0	215.3	78.2	10	9
18 電子部品	0.0	16.8	5.9	0	0
19 電気機械	0.0	58.9	20.1	1	1
20 情報通信機器	0.0	31.8	10.7	1	1
21 輸送機械	0.0	48.2	14.8	1	1
22 その他の製造工業製品	0.0	92.6	37.4	7	5
23 建設	0.0	186.3	82.6	15	11
24 電力・ガス・熱供給	0.0	1,060.3	327.0	6	6
25 水道	0.0	329.4	154.8	6	6
26 廃棄物処理	0.0	201.4	123.6	12	12
27 商業	931.0	2,950.4	1,955.9	475	432
28 金融・保険	0.0	1,281.0	826.4	57	56
29 不動産	72.0	3,913.9	3,290.8	62	55
30 運輸・郵便	624.8	1,461.4	941.6	105	101
31 情報通信	34.1	632.6	331.7	23	21
32 公務	0.0	88.7	62.2	4	4
33 教育・研究	0.0	373.3	271.9	30	26
34 医療・福祉	35,048.2	36,233.4	21,978.5	3,758	3,577
35 他に分類されない会員制団体	0.0	208.8	119.7	29	27
36 対事業所サービス	827.7	3,100.8	1,851.5	371	311
37 対個人サービス	74.0	1,840.5	936.1	265	220
38 事務用品	17.0	130.5	0.0	0	0
39 分類不明	0.0	219.7	94.0	0	0
合計	37,694.5	56,650.7	34,182.9	5,310	4,934

(資料)兵庫県「平成27年兵庫県産業連関表」

参考表1-4 2021年度広畠+姫循運営需要経済波及効果概要(兵庫県39部門) (単位:百万円、人)

部門	最終需要額	生産誘発額	付加価値誘発額	就業者誘発数	雇用者誘発数
1 農業	4.2	47.2	21.4	13	2
2 林業	0.0	4.2	3.1	1	0
3 漁業	0.0	25.4	13.1	2	1
4 鉱業	0.0	6.2	2.4	0	0
5 飲食料品	0.0	351.1	117.5	13	12
6 繊維製品	0.0	17.5	6.5	3	2
7 パルプ・紙・木製品	0.0	59.9	19.6	3	2
8 化学製品	0.0	675.5	223.0	13	12
9 石油・石炭製品	0.0	51.1	8.7	1	1
10 プラスチック・ゴム製品	0.0	36.9	13.7	1	1
11 窯業・土石製品	0.0	15.1	7.0	1	1
12 鉄鋼	0.0	8.6	1.5	0	0
13 非鉄金属	0.0	7.4	1.8	0	0
14 金属製品	0.0	18.7	7.9	1	1
15 はん用機械	0.0	11.5	4.8	0	0
16 生産用機械	0.0	12.3	5.2	0	0
17 業務用機械	0.0	152.0	55.2	7	7
18 電子部品	0.0	13.0	4.5	0	0
19 電気機械	0.0	42.7	14.6	1	1
20 情報通信機器	0.0	22.3	7.5	0	0
21 輸送機械	0.0	34.6	10.6	1	1
22 その他の製造工業製品	0.0	64.7	26.1	5	4
23 建設	0.0	130.1	57.7	10	8
24 電力・ガス・熱供給	0.0	738.3	227.7	5	5
25 水道	0.0	231.8	108.9	4	4
26 廃棄物処理	55.5	204.9	125.8	13	11
27 商業	0.0	1,418.1	940.1	228	207
28 金融・保険	2.8	898.2	579.4	39	38
29 不動産	193.1	2,852.7	2,398.5	45	40
30 運輸・郵便	0.0	586.2	377.7	41	40
31 情報通信	9.1	424.5	222.6	15	14
32 公務	239.4	300.1	210.4	16	16
33 教育・研究	0.0	259.4	189.0	20	19
34 医療・福祉	24,503.0	25,328.8	15,364.0	2,626	2,499
35 他に分類されない会員制団体	0.0	146.0	83.7	20	19
36 対事業所サービス	979.6	2,565.2	1,531.7	308	258
37 対個人サービス	391.7	1,625.7	826.9	233	194
38 事務用品	0.0	79.2	0.0	0	0
39 分類不明	0.0	148.6	63.6	0	0
合計	26,378.4	39,615.7	23,883.5	3,689	3,420

(資料)兵庫県「平成27年兵庫県産業連関表」

参考表2 建設需要経済波及効果概要(姫路市40部門)

(単位:百万円、人)

部門	最終需要額	生産誘発額	付加価値誘発額	就業者誘発数	雇用者誘発数
1 農業	0.0	14.4	6.3	2	1
2 林業	0.0	1.1	0.8	0	0
3 漁業	0.0	11.3	5.8	0	0
4 鉱業	0.0	0.4	0.2	0	0
5 飲食料品	0.0	149.0	48.9	5	5
6 繊維製品	0.0	9.0	3.3	1	1
7 パルプ・紙・木製品	0.0	43.0	12.9	1	1
8 化学製品	0.0	72.4	19.2	0	0
9 石油・石炭製品	0.0	36.1	4.1	0	0
10 プラスチック・ゴム製品	0.0	93.5	35.4	3	3
11 窯業・土石製品	0.0	170.0	80.8	6	6
12 鉄鋼	0.0	13.2	1.2	0	0
13 非鉄金属	0.0	13.7	3.0	0	0
14 金属製品	0.0	682.0	302.3	46	41
15 はん用機械	0.0	60.6	25.3	2	2
16 生産用機械	0.0	16.7	7.2	0	0
17 業務用機械	5,897.0	6,296.1	1,895.0	245	241
18 電子部品	0.0	160.2	56.0	7	7
19 電気機械	2,599.0	2,661.7	902.8	70	69
20 情報通信機器	1,770.0	1,789.2	570.1	35	35
21 輸送機械	434.5	487.4	125.0	8	8
22 その他の製造工業製品	23.9	93.7	38.0	6	4
23 建設	19,245.9	19,334.5	8,613.1	2,244	1,821
24 電力・ガス・熱供給	0.0	427.2	131.7	2	2
25 水道	19.6	102.3	48.1	1	1
26 廃棄物処理	0.0	49.2	30.2	3	3
27 商業	0.0	979.3	651.7	150	137
28 金融・保険	0.0	732.0	473.0	33	32
29 不動産	0.0	1,802.7	1,513.4	28	23
30 運輸・郵便	206.4	905.4	603.3	74	72
31 情報通信	0.0	272.8	139.9	11	9
32 公務	0.0	161.9	112.1	8	8
33 教育・研究	0.0	189.7	134.6	11	10
34 医療・福祉	0.0	311.5	187.1	31	30
35 他に分類されない会員制団体	0.0	127.2	72.9	16	16
36 対事業所サービス	622.0	2,728.9	1,601.4	332	284
37 宿泊、飲食サービス	0.0	393.3	156.9	59	51
38 その他対個人サービス	0.0	249.7	171.0	38	29
39 事務用品	0.0	34.6	0.0	0	0
40 分類不明	0.0	593.9	254.1	1	1
合計	30,818.3	42,270.8	19,038.3	3,479	2,953

(資料)兵庫県立大学浦山准教授「平成27年姫路市産業連関表」

参考表2-2 2022年度運営需要経済波及効果概要(姫路市40部門) (単位:百万円、人)

部門	最終需要額	生産誘発額	付加価値誘発額	就業者誘発数	雇用者誘発数
1 農業	0.0	27.8	12.2	6	2
2 林業	0.0	1.9	1.4	0	0
3 漁業	0.0	29.8	15.4	0	0
4 鉱業	0.0	0.5	0.2	0	0
5 飲食料品	41.4	331.7	108.8	12	10
6 繊維製品	0.0	14.7	5.4	2	1
7 パルプ・紙・木製品	0.0	39.2	11.8	2	1
8 化学製品	0.0	775.9	205.9	10	10
9 石油・石炭製品	0.0	37.7	4.2	0	0
10 プラスチック・ゴム製品	0.0	25.7	9.7	1	1
11 烟業・土石製品	0.0	7.6	3.6	0	0
12 鉄鋼	0.0	0.2	0.0	0	0
13 非鉄金属	0.0	1.3	0.3	0	0
14 金属製品	0.0	16.8	7.4	1	1
15 はん用機械	0.0	6.2	2.6	0	0
16 生産用機械	0.0	10.7	4.6	0	0
17 業務用機械	0.0	149.1	44.9	6	6
18 電子部品	0.0	8.6	3.0	0	0
19 電気機械	0.0	10.1	3.4	0	0
20 情報通信機器	0.0	14.5	4.6	0	0
21 輸送機械	0.0	26.0	6.7	0	0
22 その他の製造工業製品	0.0	91.6	37.2	6	5
23 建設	0.0	142.9	63.7	15	13
24 電力・ガス・熱供給	0.0	804.7	248.1	5	5
25 水道	0.0	240.1	112.8	4	4
26 廃棄物処理	0.0	146.9	90.2	10	10
27 商業	694.0	1,859.5	1,237.5	287	261
28 金融・保険	0.0	940.1	607.5	42	41
29 不動産	66.0	3,128.1	2,626.1	47	40
30 運輸・郵便	335.0	944.2	629.2	76	74
31 情報通信	45.4	428.2	219.6	18	17
32 公務	0.0	63.2	43.8	3	3
33 教育・研究	0.0	244.9	173.8	15	13
34 医療・福祉	28,628.0	29,575.2	17,758.5	3,040	2,880
35 他に分類されない会員制団体	0.0	163.2	93.6	20	19
36 対事業所サービス	682.0	2,369.0	1,390.2	288	248
37 宿泊、飲食サービス	50.0	704.1	280.8	107	92
38 その他対個人サービス	11.0	537.3	368.0	86	61
39 事務用品	0.0	85.7	0.0	0	0
40 分類不明	0.0	158.8	67.9	0	0
合計	30,552.9	44,163.7	26,504.9	4,109	3,818

(資料)兵庫県立大学浦山准教授「平成27年姫路市産業連関表」

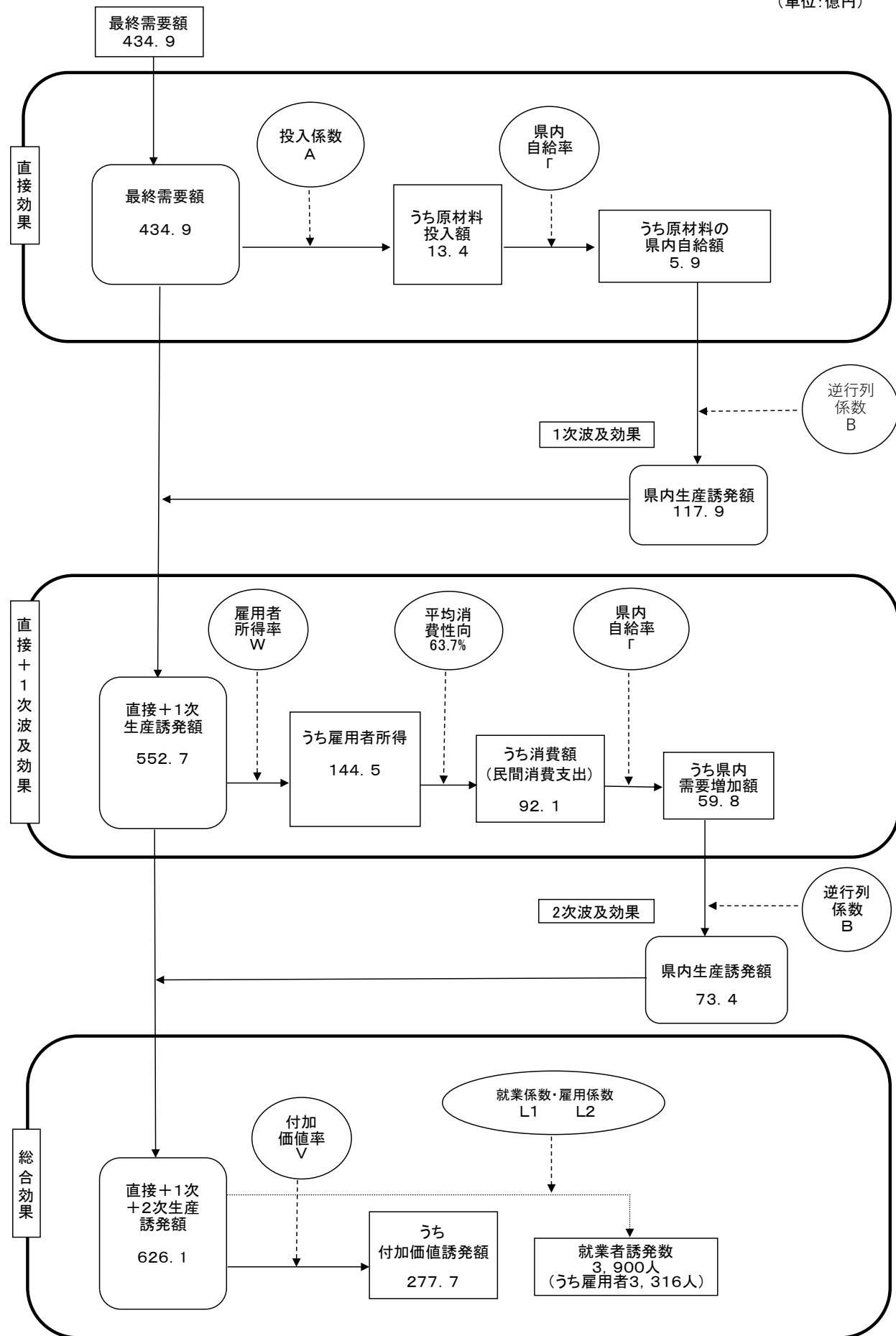
参考表2-3 2023年度運営需要経済波及効果概要(姫路市40部門) (単位:百万円、人)

部門	最終需要額	生産誘発額	付加価値誘発額	就業者誘発数	雇用者誘発数
1 農業	0.0	33.4	14.7	7	2
2 林業	0.0	2.3	1.7	1	0
3 漁業	0.0	35.9	18.5	0	0
4 鉱業	0.0	0.7	0.3	0	0
5 飲食料品	45.2	394.5	129.4	14	13
6 繊維製品	0.0	17.7	6.6	2	1
7 パルプ・紙・木製品	0.0	47.1	14.2	2	2
8 化学製品	0.0	937.9	248.9	12	12
9 石油・石炭製品	0.0	45.3	5.1	0	0
10 プラスチック・ゴム製品	0.0	30.6	11.6	1	1
11 窯業・土石製品	0.0	9.1	4.3	0	0
12 鉄鋼	0.0	0.2	0.0	0	0
13 非鉄金属	0.0	1.5	0.3	0	0
14 金属製品	0.0	20.1	8.9	1	1
15 はん用機械	0.0	6.9	2.9	0	0
16 生産用機械	0.0	11.8	5.1	0	0
17 業務用機械	0.0	179.5	54.0	7	7
18 電子部品	0.0	9.8	3.4	0	0
19 電気機械	0.0	11.9	4.1	0	0
20 情報通信機器	0.0	17.4	5.5	0	0
21 輸送機械	0.0	30.1	7.7	0	0
22 その他の製造工業製品	0.0	109.9	44.6	7	6
23 建設	0.0	172.1	76.7	20	16
24 電力・ガス・熱供給	0.0	971.1	299.4	5	5
25 水道	0.0	289.6	136.1	5	5
26 廃棄物処理	0.0	177.0	108.6	12	12
27 商業	931.0	2,334.6	1,553.8	359	328
28 金融・保険	0.0	1,131.1	731.0	51	49
29 不動産	72.0	3,760.9	3,157.4	57	48
30 運輸・郵便	363.0	1,097.4	731.3	90	87
31 情報通信	34.1	491.6	252.1	18	17
32 公務	0.0	76.1	52.7	4	4
33 教育・研究	0.0	294.7	209.1	18	16
34 医療・福祉	34,619.0	35,761.9	21,473.4	3,677	3,482
35 他に分類されない会員制団体	0.0	196.2	112.5	25	23
36 対事業所サービス	582.0	2,597.7	1,524.4	315	271
37 宿泊、飲食サービス	55.0	842.9	336.2	126	110
38 その他対個人サービス	8.0	642.2	439.9	103	73
39 事務用品	0.0	103.2	0.0	0	0
40 分類不明	0.0	191.0	81.7	0	0
合計	36,709.3	53,084.8	31,867.9	4,939	4,591

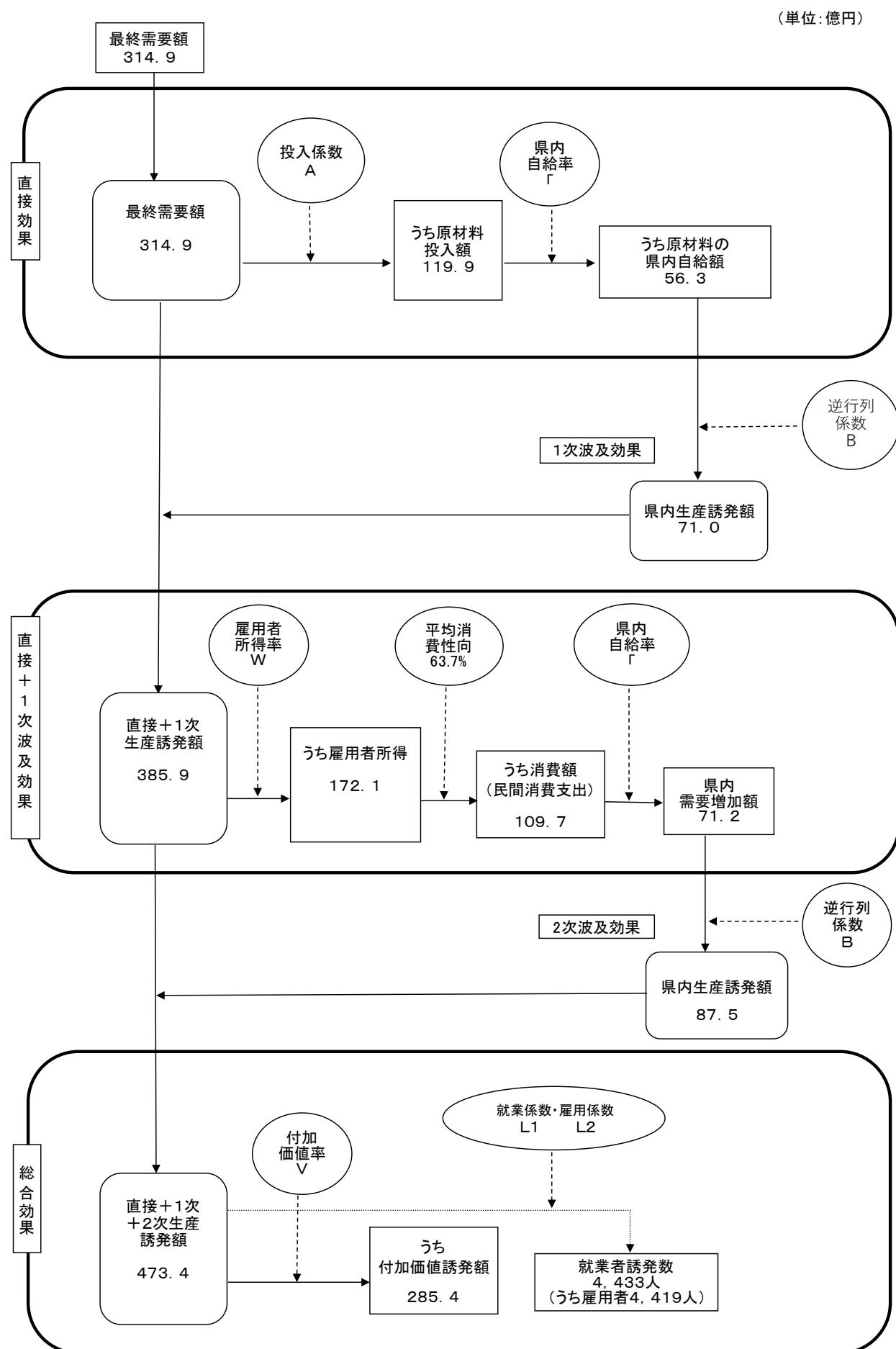
(資料)兵庫県立大学浦山准教授「平成27年姫路市産業連関表」

(図表15) 兵庫県立はりま姫路総合医療センター建設の経済波及効果フローチャート

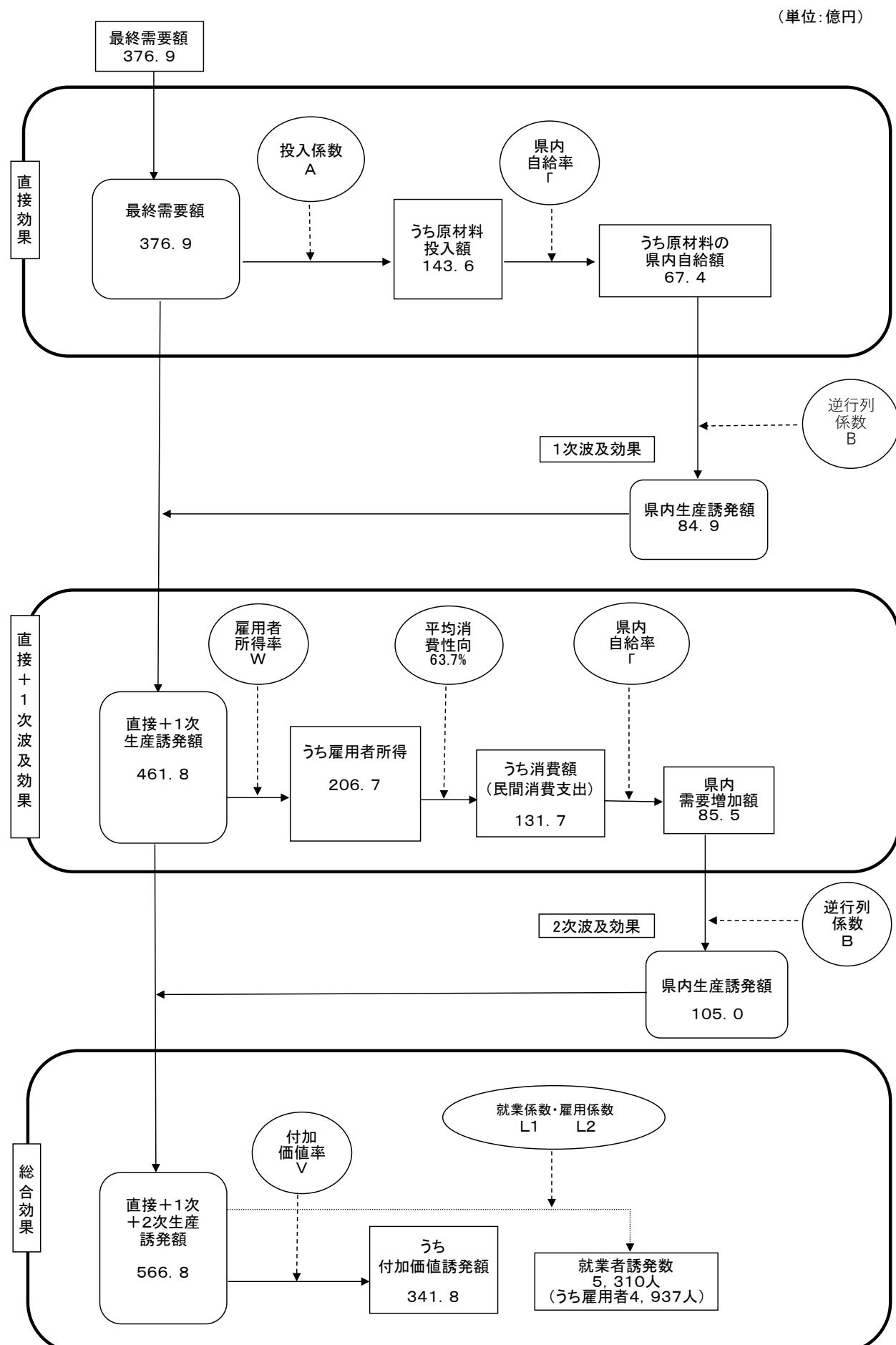
(単位: 億円)



(図表16) 兵庫県立はりま姫路総合医療センター開院後運営(2022年度)の経済波及効果フローチャート



(図表17) 兵庫県立はりま姫路総合医療センター開院後運営(2023年度)の経済波及効果フローチャート



(参考)

2 産業連関表各種係数用語

- ・**投入係数**：ある産業（列）において、生産物 1 単位を生産するために、諸産業（行）から仕入れる原材料などの投入量の割合をいい、これにより生産物の費用構造（各産業の生産技術的関係）や各産業における必要原材料の投入を通じた産業相互間の連結状況が明らかになる。
- ・**逆行列係数**：ある部門に対する最終需要が 1 単位発生した場合、各部門に対してどのような生産波及が生じ、部門別の国内生産額が最終的にどれだけになるかをみたもので、一覧表にしたのが、「逆行列係数表」である。列和（縦方向にみた計）はその列部門に対する最終需要 1 単位によって引き起こされる産業全体に対する生産波及の大きさを表す。
- ・**生産誘発額**：生産をするのに必要な原材料としての中間需要、一度生産されたものが再び商品として県内の生産活動に入ってこない最終需要である。全ての生産活動は、最終需要を満たすために行われているといえる。つまり、生産は最終需要によって誘発されていることになる。最終需要によって直接・間接に誘発された生産額を最終需要項目別にみたものが、「最終需要項目別生産誘発額」である。
- ・**付加価値誘発額**：最終需要が増加すれば、それが生産を増加させ、生産の増加に伴って付加価値も増加する。付加価値が増加すれば、その中の雇用者所得、営業余剰などが最終需要部門に支出され、最終需要の増加をもたらすというように相互に影響し合っている。最終需要によって誘発された付加価値額を最終需要項目別にみたものが、「最終需要項目別付加価値誘発額」である。
- ・**就業者誘発数**：生産需要に対する労働（雇用）需要誘発数
- ・域内自給率： $1 - \text{移輸入率} (\text{移輸入額} / \text{市内需要額})$
- ・平均消費性向：消費者の所得全体に対する消費支出の割合
- ・民間消費支出係数：産業連関表最終需要部門の民間消費支出の内生部門合計を 1 とした場合の各産業部門の割合。

(参考 2) 経済波及効果及び経済的評価について

1 経済波及効果推計の考え方

経済効果とは各種プロジェクトは、地域の人々の生活のいろいろな側面に影響を与える。例えば、新しく橋がかけられて交通の便がよくなったり、体育館やホールができて地域の人々が継続的に利用できるようになったりすると、プラスの経済効果がある。他方、博覧会開催中の混雑、騒音とか、リゾートの観光客と地域住民との摩擦とかいった、マイナスの経済効果もあり得ると考えられる。そうしたさまざまな影響を例示すると、①諸産業間の経済波及効果（諸産業の生産量の増加）、②所得創出・分配効果（所得の増加とその分配）、③雇用機会創出効果（仕事口の増加）、④外部経済・不経済効果（生活基盤の整備、環境汚染など）、⑤社会効果（人々の生活変化とそれに伴う社会変化など）などがあげられる。こうした中で経済的な側面に焦点を当てるのが、経済効果分析である。

直接効果はプロジェクトの建設投資（営業開始後は利用客の消費支出）による様々な生産物やサービスへの需要を満たすために引き起こされる産業連関的な波及効果の累積額である。間接効果は直接効果で誘発された所得の中から、家計消費が支出され、消費・所得の循環を通じる乗数的波及過程が始まる。この波及過程で次々と呼び起こされていく経済活動の累計額でプロジェクトそのものからはより遠く、広い範囲での二次的な経済効果であり間接効果までが経済効果の推計対象である。産業連関分析では、生産誘発額、付加価値誘発額、就業者誘発数、雇用者誘発数などの計数が推計され、分析結果評価では経済波及効果と当初需要額及び県内総生産と比較した当初比を計算し、経済効果が高い部門、低い部門を抽出し比較する。この当初比が高い部門が、投資効果が高い部門である。

2 経済波及効果分析の限界と課題

生産波及効果分析では、新しく生み出された雇用者所得が新たに消費需要の増加につながり、再度生産を誘発するに至る過程を対象にし、計算上は次々に効果が波及していき、誘発される生産額が 0 になるまで分析は可能である。実際には、生産波及過程で波及の中断やタイム・ラグの問題などもあると考えられるので、各事例では一般的に行われているように、分析の対象を第 2 次間接効果までに限定する。雇用者所得の外に営業余剰なども、一部、消費や投資に向って新たな需要を喚起するが、その転換比率となる指標に資料上の制約があり、比率が明確か、または推定可能な特別の場合を除いて計算されることはないため、計測の対象外としている。